

研究ノート

金正恩政権初期における 朝鮮労働党中央委員会機関誌

礒 崎 敦 仁

1. はじめに

『勤労者』は、1946年10月25日に創刊された朝鮮労働党中央委員会の政治理論機関誌である。同誌は、「永生不滅の主体思想、先軍思想とその具現たる党の路線と政策を理論的に深く展開し、内外に広く宣伝することで党員達と勤労者達をわが党の唯一指導でしっかり武装させ、全社会を主体思想化するのに積極的に貢献することを自らの基本使命にして」おり、「中央と地方の党及び行政、勤労団体活動家達と社会科学部門、教育養成機関活動家達を基本読者対象」にするとされる¹⁾。しかし、国外への搬出制限がかかった1992年以降は入手困難となり、北朝鮮研究が最も盛んな韓国においてもこれを十分に活用した研究は見当たらない²⁾。

月刊の『勤労者』は、長年にわたってその構成を変えておらず、冒頭に金日成党中央委総書記や金正日党総書記の「労作」全文や「お言葉」の抜粋、それに準ずる新年「共同社説」等が掲載される。続いて「編集局論説」、「革命伝統及び党建設論説」、「政治思想論説」、「経済建設論説」、「科学文化論説」、「経験論説」、「祖国統一問題」、「国際問題」、「時事解説」の順に掲載される。一論文の分量は、最高指導者のそれを除き3ページが一般的である。また、時節に応じて特集が組まれたり、「偉大な領導者金正日同志の名言解説」等のミニコーナーが挿入されたりもする。

本稿では金正恩政権初期に見られた特徴的な記事を選別し、翻訳のうえ若干の解題を付すことにした。翻訳は原文に忠実な直訳調とし、必要に応じて丸番号を付したほか、特に注目すべき部分には下線を引いている。なお、朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）では漢字が公式に廃止されているため、ここで提示する執筆者名は金日成や金正日等の一部人士を除き筆者による音訳である。

2. 最高領導者の「お言葉」

(1) 「偉大な領導者金正日同志が敬愛する金正恩同志の偉人的風貌について話されたお言葉（抜粋）」2012 年第 3 号，3 頁。[全訳]

①「今日、わが革命は主体革命偉業遂行の重大な歴史的時期に入りました。私は、わが大将がいるゆえ、わが革命の前途についていつでも信念が固く、革命勝利に対する信心に溢れています。白頭で始まった主体革命偉業は、わが大将によって輝かしく継承されるでしょう。」

②「首領様は、私の思想や性格、趣味や習慣について不思議なほど白頭山に似ているとお話しされましたが、わが大将は私に似ています。」

③「わが大将の精神と気質は、白頭山の精気と気性そのままです。その信念と意志がどれだけ強く、肝っ玉が強いのか、ある時には私も感服するほどです。信念と意志において、胆力と肝っ玉において彼に及ぶだけの人はこの世にいないでしょう。」

④「彼は、天才中の天才です。わが大将は、軍事にも明るく、先端科学技術にも明るく、わが人民がどのようにすれば世界で最も尊厳高く幸福な生活を享受できるかということをよく理解し、遠く前途を展望することのできる白頭山型の将軍です。」

⑤「今日、わが大将が近衛ソウル柳京洙第 105 戦車師団に行って訓練指導をしながら直接戦車を操縦して砲撃をしましたが、新年の初めての砲声を彼が鳴らしたというわけです。わが大将が鳴らした砲声は、西海進軍の初砲声であり、祖国統一偉業と主体革命偉業を白頭山銃隊でしっかりと継承完成していく揺るぎない信念と意志を内外に宣言した勝利の砲声であるということが出来ます。」

⑥「わが大将は、熱情の人間です。彼の全ての魂は、私の健康のためであり、私の事業負担を軽くしてくれるために一貫されており、彼にはいったん決心して開始した仕事は最後までやり遂げる気質があります。」

⑦「彼は、革命同志達に対する義理心も深いです。一回信頼を与え情を与えた同志達に対して最後まで大切にし、面倒を見てやるのは彼の美德です。」

⑧「わが大将は、政治と軍事、経済、文化をはじめとした全ての分野に対する多面的で該博な知識を有しています。」

⑨「わが大将は、馬も騎馬手よりさらに上手に乘ります。彼は、水泳とバスケットボール、バドミントン、卓球をはじめとし、できない体育種目がありません。

わが大将は、音楽にも造詣が深く、和声のようなものも特色が出るよう上手に編成して音楽編集までやります。」

⑩「金正恩大将は、私の後継者です。彼は、いま私の事業を多く補佐してくれています。」

⑪「今や、わが大将が私の事業を多く補佐してくれています。私は22歳の時から党中央委員会で事業をしながら実績を積みましたが、わが大将もやはりよくやっています。」

⑫「活動家達は、主体革命偉業継承の歴史的転換期に入った現実発展の要求に合うように自らの責任を果たし、全ての部門、全ての単位でわが大将の領導をよく奉じていくようにしなければなりません。」

【解題】本論は、金正日が三男・金正恩を称賛した言葉が整理され公表された最初の文献である。1980年10月開催の第6回党大会でデビューを果たした直後から偶像化宣伝が表面化した金正日とは異なり、2010年9月開催の第3回党代表者会で公式の場に登場した金正恩に対する煽動宣伝は、金正日の死去まで非常に抑制的であった³⁾。党代表者会当時、朝鮮人民軍大将、党中央軍事委員会副委員長の金正恩は公に「後継者」と呼称されていなかったが、本論では、金正日が彼を明確に「後継者」と呼んでいたことが分かる。

(2) 「敬愛する金正恩同志がわが党を偉大な金日成、金正日同志の党として強化発展させていくことについてされたお言葉（抜粋）」2013 年第 10 号、3 頁。[全訳]

①「偉大な金日成同志と金正日同志を千世万世高く奉じ、首領様と將軍様が留意してくださった主体革命偉業を代を継いで輝かしく継承完成していくことは、わが党と人民の革命的義務であり、崇高な道德義理である。」

②「偉大な金日成同志と金正日同志は、永遠にわれわれとともにいらっしゃるという絶対不変の信念を胸に深く刻んで大切にし、首領様と將軍様の思想と業績をしっかりと擁護固守して絶えず輝かしていかななくてはならない。」

③「わが党と国家、軍隊を金日成同志と金正日同志の党、国家、軍隊として絶えず強化発展させていかなければならない。党、国家建設と革命武力建設で首領様と將軍様の思想と業績をそのまま継いでいき、党建設と国家建設、軍建設を徹頭徹尾首領様式、將軍様式でやっていかなければならない。」

④「党代表者会でわれわれは、朝鮮労働党が栄光なる金日成、金正日同志の党であることを内外に宣布しようと思います。」

⑤「朝鮮労働党の歴史は、党の創建者であられる首領様の偉大な革命活動歴史であり、首領様の思想と偉業を輝かしく継承してこられた將軍様の偉大な革命活動歴史です。」

⑥「わが党が持つ高い権威と不敗の威力、革命と建設で成し遂げた偉大な業績は、首領様と將軍様の御尊名に結びついており、首領様と將軍様の御尊名はわが党の強化発展とともに永遠不滅でしょう。」

⑦「朝鮮労働党は、偉大な首領様と將軍様を永遠の首領として高く奉じた金日成、金正日同志の党です。」

⑧「朝鮮労働党の指導思想は、偉大な金日成・金正日主義です。朝鮮労働党は、金日成・金正日主義を指導思想として、その実現のために闘争する栄光なる金日成・金正日主義党です。」

⑨「われわれは、朝鮮労働党を永遠に栄光なる金日成、金正日同志の党として絶えず強化発展させていかななくてはなりません。」

⑩「わが党を永遠に金日成、金正日同志の党として強化発展させていくことに

において重要なことは、党の唯一的領導体系をより徹底して立てることです。」

【解題】2012年4月11日開催の第4回党代表者会において金正恩が新設の第一書記（朝鮮語では「第一秘書」）職に就任した。同時に故・金正日が「永遠の総書記」（朝鮮語では「総秘書」）に推戴され、党総書記職の永久欠番化が宣言されたといえる⁴⁾。本論では、その前提となる金正恩の「お言葉」が含まれている。

(3) 「偉大な領導者金正日同志が敬愛する金正恩同志の偉大性についてされたお言葉（抜粋）」2013年第5号、3-4頁。[全訳]

①「金正恩同志が党と国家の公式的な職務を担い事業した期間はまだ長くないが、彼は既にかかなり前からわれわれと先軍の道をともに歩みながら、党の先軍革命領導を先頭で奉じてきて、その過程で革命偉業の継承者、後継者が備えるべき思想理論的叡智と領導力、崇高な人民的風貌をより円満に備えるようになりました。」

②「金正恩同志は、わが革命が最も困難だった苦難の行軍時期に、人民達が経験する苦勞をともに経験し、人生体験も多くしました。彼は、人民達とともに苦難と試練を克服していきながら革命同志と人民に対する信心、主体革命偉業の正当性に対する信心をより固く大切にして、革命家において愛よりも偉大で重要で力があるのは信心だという哲理を胸の中深く刻むようになりました。おそらく金正恩同志は、苦難の行軍時期を永遠に忘れないでしょう。」

③「金正恩同志は、領導者として備えるべき特出した実力と風貌を持っており、人民達から全面的な支持と信頼を受けています。」

④「金正恩同志は、自ら首領と領導者に対する絶対的な忠誠心を持っています。」

⑤「金正恩同志は、私が構想して意図する諸問題を率先して把握し、一寸の隙も無く相応しい時に解決していっており、強盛国家建設の主要線区ごとと人民軍隊を先頭に立てて、党の構想と意図を最も完璧に実現していっています。」

⑥「彼の全ての思索と活動は、私の健康を願い、私の事業をよりよく補佐するためで一貫されていました。」

- ⑦「金正恩同志は、文武を兼備しており、先軍革命偉業を継承していくことができる能力と資質を立派に有した多彩多能な実力家型の指導者です。」
- ⑧「金正恩同志は、わが党の革命思想と理論に精通しているのみならず、政治と軍事、経済と文学芸術、科学と技術、そして歴史と建築に至るまで全ての分野に対する該博な知識と識見を持っています。」
- ⑨「金正恩同志は、時代の変遷と歴史の流れの中でわが革命と社会主義をいかに守護し発展させていくか、わが人民がいかにすれば世界で最も尊厳高い幸福な生活を享受するかということをよく分かり、将来を見通しうる真の人民の指導者です。」
- ⑩「金正恩同志は、霊将としての品格と資質を立派に備えた白頭山型の将軍です。」
- ⑪「金正恩同志は、軍事的眼目が広く、軍事分野についての実力がとても高いです。」
- ⑫「金正恩同志は、いつも銃隊を愛するのみならず、軍事指揮官らしい知略が秀でて軍事戦法にも明るく、領軍術も高いです。彼は、金日成軍事総合大学で勉強した際に、既に軍事専門家達もかつて考えられなかった冷活な作戦戦術的方案（複数）を出して、私を感服させたことは一、二回ではありません。」
- ⑬「金正恩同志は、先端軍事科学技術と武装装備にも精通しており、10代で既に古今東西の世界的な名将達を全て把握して、現代戦争についての一見識を持っています。」
- ⑭「金正恩同志は、優れた軍事的気質を持っています。」
- ⑮「金正恩同志の精神と気質は、白頭山の精気と気性そのままです。彼の信念と意志、胆力と肝っ玉は、本当に驚くほどです。」
- ⑯「金正恩同志は、高潔な人民的風貌を持った人民の指導者です。」
- ⑰「以民为天は、偉大な首領様の座右の銘であり私の座右の銘であると同時に、金正恩同志の座右の銘です。金正恩同志は、人民を限りなく尊重し、熱く愛して、人民のために自らの全てのものをみな捧げています。」
- ⑱「金正恩同志は、革命の1世、2世達をはじめとする革命の先輩達をわが革命の元老として丁寧に接し、彼らの健康と生活を注意深く面倒みてあげていま

す。」

⑭「金正恩同志は、革命同志達に対する友愛心と義理心が深いです。」

⑮「金正恩同志は、子供達と学生少年達を特別に可愛がり、愛しています。これは、彼の崇高な後代観の発現であり、彼の天稟でもあります。」

⑯「金正恩同志は、非常に謙虚で気さくな品性を持っています。彼は、人民達と間隔を置いて杵を設けることを好まず、人民達の前では、自らを極力低め、自らを立てようとするに対しては絶対に許しません。」

⑰「金正恩同志は、革命の領導者、人民の指導者としての資質と品格を立派に持っていることで、人民達から支持と愛を受けており、これについて世界の人も認め感服しています。」

⑱「金正恩同志がおり、わが革命、わが社会主義は微動だにせず、わが祖国の未来は絶えず明るく洋々としています。」

㉑「われわれは、偉大な首領様が開拓され、わが党が勝利の一つの途へ導いてきた主体革命偉業を、金正恩同志の領導に従って代を継いで継承完成していかなくてはなりません。」

【解題】先に紹介した2.(1)「偉大な領導者金正日同志が敬愛する金正恩同志の偉人的風貌について話されたお言葉（抜粋）」に続く金正日による金正恩称賛の第二弾である。実子である金正恩が金正日の健康を気遣ったことについて高く評価されており、北朝鮮における後継者の「資質」が何たるかの一端を示しているといえる⁵⁾。本稿脱稿（2015年9月10日）時点で、1990年代後半の「苦難の行軍」期に金正恩がスイスに留学していたという事実は一切公表されていないが、本論では同時期に「人民達が経験する苦勞をともに経験」したとされる。

3. 論文

(1) 鄭永原「帝国主義者達が押し寄せてくる『中東の風』の主たる対象は青年達である」2013年第12号、55-57頁。[部分訳]

現在、帝国主義者達が押し寄せてくる新たな「中東の風」の危険性と害毒的効果について良く知り、青年達に徹底して備えさせることは、われわれ式社会

主義を守るための切迫した要求となっている。

帝国主義者達が押し寄せてくる「中東の風」は、青年達の心理から先制打撃して青年達の思想動向を誘導し政権交代を成し遂げる、眩暈のする資本主義的狂風である。

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しされた。

「青年達は、いつでも党に従ってまっすぐ前に出ていかねばならず、わが青年達の力強い歩みによって強盛する明日はより早まるようになるでしょう。」

青年達は、社会の最も活力ある部隊であり、強盛する祖国の希望と未来の全てである。党と革命、民族の将来運命が青年達にかかっている。社会の活力を失うようにして民族の前途を滅ぼしてしまう有害な「中東の風」は、徹底して警戒し、断固として粉碎してしまわねばならない。

帝国主義者達が押し寄せてくる「中東の風」は、青年達を腐敗変節させる資本主義の遊び人の風である。(中略)

青年達固有の年齢心理的特性から出発し、米国と西側帝国主義者達は、自らの支配主義的野望を実現することにおいて、世界観形成過程にある他国の青少年達を相手にした教育文化交流と文化産業を特別に重視している。帝国主義者達は、世界の多くの国の知識人青年達と学生達を自らの大学と研究所に受け入れ、米国式「価値観」に浸すことで、彼らが西側的「文明」を広める伝播者の役割を担うよう目論んでいる。(中略)

文化産業は、西側式「文明」を全世界に伝播しようとする米国の戦略的輸出産業である。米国が映画、テレビドラマ、コンピュータ娯楽、電子図書、出版物等を製作、普及、販売する文化産業を戦略産業として急速に発展させていることは、単純に商業的目的だけのためではない。いま世界的に米国の文化産業生産額の比重が最も高くなっていることは、それだけ米国式「価値観」の宣伝領域も拡大しているということを意味する。多くの貿易黒字が記録している米国の文化産業は、海外販売市場で他国の青年購買者達に「豊饒」と贅沢の享楽が溢れる「恍惚の資本主義世界」に誘惑する、言葉無き宣伝者の役割を担っている。(中略)

少なからぬアラブの国々で国と民族の貴重な花であり未来の主人公である青

少年達がイスラム教固有の民族的な自らのやり方、自らのものを捨てて、異色的な生活風潮に毒され、自主意識が麻痺した無気力な人間になってしまったことは、米国と西側の猛烈な文化的侵攻の結果であった。

米国をはじめとする西側諸国は、西側式「価値観」の伝播を中東の自主的な国々とイスラム教を国家の政治理念としている国々を西側化することを基本手段に掲げ、主たる矢を青年達の親米、新西側感情の培養に向けている。数年前から米国は、イスラム教国の上流階層の政治指導者達を対象に編集した放送、出版報道物（複数）の内容を青年達を基本対象にし、彼らの心理に合うように変え、編集して放送した。さらに、アラブ世界の若者達に影響を与えるため、米国で暮らしているイスラム教徒達のいわゆる「自由な生活」を収録したもののような不純映画（複数）を制作し、アラブ地域を対象に毎日のように送信した。これがアラブ世界の若者達に良くない影響を与えるということは明白である。これに対してアラブイスラム教問題の大家だという米国のある大学教授は、自らの論文で「確実に、アラブ青年達がインターネットと衛星テレビでイスラエルの与野党が展開する活発な論議を見て、今まで植えつけられたイスラエルの映像との違いを感じた時、自らの国が処する状況と未来に不満を感じるようになることは火を見るより明らかだ。」と書いた。

帝国主義者達の「民主化」攻勢に道を開けば、まず初めに新しいことに敏感で流行に流れやすい青年達が不純録画物と接触するようになり、そこに引き入れられる案内者となり、資本主義棲息の場を造るようになる。（中略）

帝国主義者達が押し寄せてくる「中東の風」は、見えないインターネット空間で青年達を体制転覆へと誘導する「自由化」の風である。（中略）

大量の情報が発信及び受信されるインターネット時代には、虚偽世論操作が簡単で、情報統制が事実上不可能である。したがって、見えない情報通信網を通じていつ人々の中に何が知らされて何が起きるか予測できないのがインターネット時代である。2年前に中東の部分的なアラブ諸国を襲った「アラブの春」も、短時間にインターネットを通じて伝播され、各国に模倣された。これらの国々では、主に20代の青年達が携帯電話を通じて西側のインターネットに接続し、彼らが出してくる逆宣伝資料を見ながら、互いに反政府行動に合流

した。結局、米国が発明したインターネットと移動通信技術が、米国の世論操作を通じた内部攪乱戦に技術的担保を提供したといえる。米中央情報局は、「世界長距離通信の特徴をもって、われわれは、非常に大きな有利性を持って働いている。したがってわれわれは、このような優勢を上手に利用し保護しなくてはならない」と述べている。これは、コンピュータ網空間を無防備状態にさせておき、いったん青年達の心理を刺激し、彼らの集団的な反政府行動に火を点ければ、想像外に事が生じうるという深刻な教訓を刻んでくれている。(中略)

世界の多くの国々は、それを目撃してサイバー空間が青年達の心理と国家の社会政治的安定に及ぼす巨大な害毒の効果について切実に感じるようになり、インターネット規制、青年達に対する統制を軽視すれば、中東型の「ツイッター革命」が起きうると憂慮している。(中略)

帝国主義者達がインターネットという自由が表現できる表現空間への開放を敵対国家に強く迫っているのは、無制限の国際情報交流空間ではなく、内部瓦解空間の道を説くものである。

米国は、国際サイバー空間管理に必要な技術手段と装備を独占している条件を利用し、インターネットを通じた世界世論攻勢を主導しようとしている。(中略)

青年達を狙う「中東の風」を防ぐことにおいて、青年達に対する思想教養事業を担った青年同盟の活動家達の責任と役割は非常に重要である。青年重視は、わが党と革命の永遠の戦略的路線であり、青年達を重視する革命は、いつでも生气と活力に溢れて勝利するものである。(中略)

われわれの金日成社会主義青年同盟中央委員会の活動家達は、敬愛する金正恩同志の卓越した青年重視政治を真心で奉じていくことで、全国の青年達を最終勝利のその日までわが党と革命を共にする若い主力部隊として育てることに積極的に貢献するであろう。

【解題】北朝鮮の初代最高指導者金日成は、ソ連におけるスターリン批判や中国における林彪事件を教訓として後継者問題の「円満な解決」を図った。二代目の金正日は、1989年に発生したルーマニアでのチャウシェスク大統領処刑

及び中国での天安門事件を教訓として「先軍」概念を打ち出した⁶⁾。それに対し、三代目の金正恩は、核開発計画を放棄した途端に NATO 軍によって崩壊に追いやられたリビアのカダフィ体制を教訓に抑止力としての核をより重視している。実際に、同時期にはリビアに関する情勢解説記事が『労働新聞』に大きく掲載されたりもした⁷⁾。三代に亘る指導者は、いずれも国外における体制護持の教訓を自らに生かすことで体制延命を図ってきたのである。なお、金正恩の「青年重視」の姿勢は、本論のみならず『労働新聞』の「政論」をはじめとして随所に垣間見られる⁸⁾。

(2) 姜錫柱「特出した対外活動で万民の心臓を泣かせる絶世の偉人」2014 年 1 号, 24-26 頁。[全訳]

世界の進歩の人類は、希望の新年の最初の朝に、正義と平和を愛する外国の仲間達にも温かい挨拶をお送りになり、歴史的な新年の辞を述べられた敬愛する金正恩元帥様に、尽きぬ祝願の挨拶を謹んで差し上げている。ここには、敬愛する金正恩同志が主体 100 年大進軍を導かれた時から、過去 2 年間、その天出偉人像に一目惚れして魅惑された世界の民心が反映されており、われわれの元帥様を 21 世紀の太陽として信頼し、従おうとする進歩の人類の精神状態が照らされている。

偉大な領導者金正日同志は、次のように指摘された。

「金正恩同志は、革命の領導者、人民の指導者としての資質と品格を立派に持っていることで、人民達から支持と愛を受けており、これに対して世界の人々も認定して敬服しています。」

敬愛する金正恩元帥様は、自主的軸を強く立てていく特出した対外活動で世界の耳目を集められる絶世の偉人であられる。

一国の政治は、対内政治と対外政治の統一体である。自主的軸は、自主性の原理を対外政治に具現していく外交活動原則である。国家指導者が対内政治で自主性を堅持できなければ国が減びてしまうように、対外政治で自主的軸を立てることができなければ国が大国の争奪戦の場になり、外勢の侵略と干渉で減びる。大国の内政干渉は政治的干渉に始まり、それが通じなければ横暴な武力

干渉に変わってしまうのが常である。

敬愛する金正恩元帥様が対外活動で最も重視し、生命と考えているのがまさに自主的軸である。

自主的軸を守る問題は、偉大な大元帥様が繰り広げられた自主的な対外政策を継承し、現情勢の要求に合うように、さらに深化発展させる問題である。偉大な首領様と將軍様は、主体思想、先軍思想に基づき、われわれ式の独創的な対外活動戦略、自主政策を推進され、先軍で国防力を強化し、自主的軸に心を配って打ち立てることができるようになされた。人類思想発展と政治方式の最高境地を開拓した偉大な主体思想と先軍思想、先軍政治は、われわれの外交戦略の礎石であり、最も正義があり強く威力ある対外政治方式として、われわれの外交の勝利を担保する百戦百勝の旗幟である。これによりわれわれの外交は、いかなる不利な状況の中でも自主と正義の砲声を鳴らし、世界を揺るがすことができる不敗の威力と無窮無尽の潜在力を持っている。

偉大な大元帥様達が先軍革命領導の全期間、自主を革命の根本、外交の生命線として揚げられた結果、まさにわが共和国の地位が今日のように高まったのである。

偉大な大元帥様達が対外活動で一生大切にし、具現してこられた自主は、敬愛する元帥様の変わりなき革命信条、革命方式、革命実践である。

われわれが自主的軸をもって戦争を防ぎ、正義と平和を守って、強盛国家建設の平和的環境も準備していることは敬愛する金正恩元帥様の特出した対外活動の結実である。西方諸国までも、北東アジアと世界の平和を固く守っている先軍朝鮮の自主的軸の前でだけはうなだれるのは、偶然なことではない。

オバマ行政府は、アジア太平洋地域「再均衡戦略」を執権 2 期目の外交政策として打ち立て、中国、ロシアを戦略的に牽制し、「太平洋の夢」を成し遂げようと暴れている。これによりアジア太平洋地域で米日を一方として中口を他方とする戦略的な対立構図が形成されている。

わが国は、諸大国のこのような熾烈な争奪戦の場のど真ん中に位置している。しかしわが国は、1 世紀前のように列強のまな板の上に上がって無残に踏み潰されるのではなく、堂々たる政治軍事強国として自らの地政学的優越性を

最大に発揮し、アジア太平洋地域をとりまく諸大国の関係をわれわれに有利に利用している。一国の地政学的優越性は、三種の要素、すなわち有利な自然地理的位置、周辺大国の勢力関係、そして該当国の国力がいかなるものかによって決定される。ここで最も重要なのが、軍力である。軍力を離れた外交とは無力なものである。

ある中国の雑誌は、「勢力均衡構造の中の朝鮮問題」という題の記事で「朝鮮半島は今後も継続して北東アジアの地政学的焦点の役割を担うようになり、朝鮮はその焦点の信管になるであろう」と述べつつ、「北東アジアの勢力均衡がアジア太平洋地域の構造に影響を与えるならば、北東アジアの勢力均衡を決定するのは朝鮮半島情勢」だと書いた。まさにこの朝鮮半島情勢を思い通りに操られる方が絶世の先軍太陽であられるわれわれの敬愛する元帥様でいらっしゃることは、万人の共通した評価である。

敬愛する金正恩同志は、10代で既にわが国が地政学的地位の重要性から世界政治情勢発展で主導的な役割を果たすことができるということを見通された傑出したお方であられる。このように偉大な領導者を高く奉じ、わが共和国は地政学的に国際関係の非常に良い地位に座り、アジア太平洋地域を支配しようとする諸大国の戦略的關係を正しく利用しつつ、新たな世紀に全世界の自主化偉業を急がせていき、国際的正義と世界平和を守護していつている。米国の政界内で自らの対朝鮮政策が完全に失敗したと是認しているのは、われわれの自主的軸の正当性、生活力に対する反証である。

偉大な大元帥様達の自主的な対外政策を継承されつつも、白頭山大国の自主的軸をより高い水準で示威することは、胆力と度胸も白頭山の精気と気性をそのまま継がれたわが元帥様の固有の特質である。あらゆる敵対勢力が千万不当な国連制裁決議を継続して採択し、そのように圧迫して制裁封鎖し、脅威恐喝している厳しい情勢の中でも、多種化した高い水準の戦争抑制力の威力も誇示し、実用衛星も継続して打ち上げ、自主の信念通りに正々堂々と究めていくのが白頭山大国の自主的軸である。敬愛する元帥様の自主的軸は、早くから白頭山の天出名将であられる大元帥様達の膝元で育ててこられた強靱な精神力と精練された領導實力に根を張り、噴出するものであり、その深さと無限大の幅を誰

も狙うことはできないのである。領土も小さく人口も多くないわが国が、世界的な政治軍事強国として注目を集めているのは、対外活動で自主的軸を固守する亀鑑を創造していかれる敬愛する元帥様の特出した領導実力が生んだ誇らしい現実である。

敬愛する金正恩元帥様は、誰も真似ることができない天才的な外交戦略と熱い包容力で人類を絶えず驚嘆させられる稀世の実力家型の偉人であられる。

実力から離れた偉人、仁徳が無い偉人はありえない。

敬愛する金正恩元帥様は、外交の実力において一番であられる。

外交は、頭脳戦、戦略戦である。外交問題では、その基底に国家と民族の利害関係が交錯しているため、それが順風に帆を掛けたように自ずから解決するようになるのではない。随時変化する情勢と状況の中で利害関係が異なる国々を対象に繰り広げる外交では、知略と外交術が高くなければならない。

昨年世界が、米国の北侵戦争演習が始まる一日前に進められた米国バスケットボール選手団のわが国訪問の時期を様々な角度で分析し、熱気を帯びた報道戦争を繰り広げたのは、敬愛する金正恩元帥様の独特な外交術の誇示である。

事実上、敬愛する金正恩元帥様が対外活動をされうる機会は、多く与えられていなかった。しかし、敬愛する元帥様は、昨年戦勝 60 周年慶祝行事を契機に進められた対外活動、ロシアとの芸術外交を継承し、21 世紀管弦楽団成員達に会ってくださり、米国バスケットボール選手団に会ってくださった対外活動等は、一つ一つが全て特記すべき対外活動であった。これは簡単な事実のようだが、絶世の偉人の対外活動が及ぼす大きな影響力を世界に示威したのと同じである。

諸外信は、それをめぐって米国が対朝鮮圧迫戦術でわれわれの周辺諸国の動向を利用してみようとしたが、かえってわれわれがそれを逆利用していく戦術格式だといって、いつかは決算をせざるをえない朝米、朝日関係を解決していくことについても、敬愛する金正恩元帥様がいかなる戦略と戦術を駆使されるか注目されると評していた。

何事にも隙を無くされ、2 手、3 手、先の手まで見通され、災いを福に急転換させる神秘の外交術、時々刻々と変わっていく情勢の流動と相手国の政策変

化によって巧みに駆使する天下無双の戦術と策略、激しい言論戦で主導的な対話平和局面を開き、反帝対決戦の砲声なき勝利を抱いてこられる攻撃式外交戦法等は、誰も真似ることができないものである。

全世界が敬愛する元帥様の卓越した人品と包容力にも感嘆を禁じ得ずにおり、国際的にも敬愛する元帥様に対する欽慕心が日増しに高まっている。

国と国の間の親善関係とは、人々と情を深め、人々との親密な接触を深める過程を通じて成し遂げられる。思想と制度、理念と信仰が異なっても人は情を与え真心で対応すれば通ずるものである。互いに尊重し理解して敬う立場に立てば、国と人民達との間の親善協調関係もよりよく導いていくことができる。

敬愛する元帥様の対外活動は、内容は伝統を継承するものでありながら、形式は全てのものが新しい。そのお方は、想像できない独特な形式で外交をされる。外交では形式も内容に多くの影響を及ぼしうる。人々とより親近になり多くのの人々と対話をできるように外交を非常に自然にされるのが、われわれの元帥様の独特な対外活動方式である。

昨年、敬愛する元帥様は、世界各国の大使達、国家機構の代表達、武官達とともに新年を迎えられ、立たれた席で、彼らが謹んで差し上げた健康宿願の祝杯も、自ら一緒にお飲みになり、精力的な対外活動を繰り広げられたことは、われわれの建国以来初めてあることであるとして、世界の耳目を集中させた。

戦勝 60 周年行事を契機に伝統的な朝中親善を強化されたことは、敬愛する元帥様が進められた精力的な対外活動の一端である。

敬愛する金正恩元帥様は、われわれに友好的に接する人々とはいかなる状況にもこだわれず、親善関係発展の新たな章を開いていっていらっしゃる。このことについて米国の主要マスコミは、敬愛する元帥様が最高領導者に推戴された後、平壤を訪問した米行政府官吏達やグーグル社執行理事長のような有名な起業家達も接見を受けられなかった事実と比較しつつ、元帥様が親しくロッドマンに 2 回も平壤に来るよう最上の歓待を配慮してくださり、自ら会ってくださり、宴会まで用意してくださったことに対して、若い將軍は確実に違う、敵意を抱いている米国政府には強硬だが、米国人民達には善意で対する人間的な義理心があり、生活がある方であられると感嘆を禁じえなかった。国際

社会は、このように敬愛する元帥様を「歴史上最も短い時間で最も大きな関心を集めた最も若く魅力ある指導者」と絶えず欽慕している。

全ての対外事業部門の活動家達は、代を継いで享受する首領福を心臓に刻み、新年にもわが党の対外政策実現を高い事業実績で奉じていかなければならないだろう。

【解題】1月刊行号には金正恩の「新年の辞」が掲載される⁹⁾。その下に掲載された論文は、高級幹部が執筆者に名を連ねる。著者の姜錫柱は、金正日政権下において外交の指令塔と目されてきたが、同政権後期ならびに金正恩政権下においては副総理職にとどまり外交の第一線からは退いたと考えられていた。しかし、本論掲載の時点では、依然として同国の外交政策に大きな影響を及ぼしうる人物であることが明らかになったといえる。また、金正日死後3年半以上が経過した現在においても、新指導者の金正恩は一切外遊を行っていない。そのような中で、金正恩の外交実績が米国バスケットボール選手の招待等に求められていることは興味深い。

(3) 韓光相「人民の夢と理想を花開かしてくださる慈悲深いお父さま」2014年第9号, 8-11頁。[部分訳]

今日、偉大な大元帥様のお名前でお呼ばれるわが祖国の地の各所では、人民の美しい夢と理想を実現するための甲斐ある闘争が力強く繰り広げられている。

敬愛する金正恩同志の賢明な領導の下に経済強国と社会主義文明国建設で世界の人々を驚かす偉大な奇跡が続いて起き、万福を享受していく人民の幸福の笑い声が全国の山河に響いている。(中略)

わずか2年にもならない間に世界に声をあげて自慢するほどの記念碑的創造物が数多く建てられ、世界の人々を驚嘆させているのが今日の現実である。(中略)

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しされた。

「世界で最も良いわが人民、直面した試練に打ち勝ち党を忠実に奉じてきた人民が、再び腰紐を締めないようにして社会主義富貴栄華を心ゆくまで享受するようにすることがわが党の確固たる決心です。」(中略)

先軍は、経済建設と文明国建設の威力ある宝剣である。強力な軍力がなくては、人民の夢と理想を実現していくことができない。

今日もわが共和国を圧殺するための帝国主義者達の策動が強化されている条件で、先軍の旗幟を変わず高く掲げていくことは、死活的な要求として提起される。

敬愛する元帥様は、先軍の旗幟を高く掲げられ、必勝不敗の革命武力に依拠され、富強祖国建設と人民生活向上で大飛躍、大革新を起こされていらっしゃる。(中略)

偉大な金日成・金正日主義の旗幟で社会主義強盛国家建設の前途を明らかにされ、燃えたぎる献身と労苦でわれわれ人民に万福を抱かせてくださる慈悲深いお父さまを高く奉じたので、金正恩時代は人民の美しい夢と理想が実現される栄光の時代として長く輝くであろう。

【解題】30代前半の金正恩を「慈悲深いお父さま」(お父さまは朝鮮語の「オボイ」)と称することで、金正恩を先代指導者と同列に並べている。注目されるのは、著者が韓光相・党経理部長であるという点である。この人物は、2014年の動静報道で金正恩への随行回数が黄炳瑞・朝鮮人民軍総政治局長(126回)に次いで2番目に多かった(65回)ことから、その重要性が分かる。

(4) 李英敏「われわれ式経済管理方法を確立することは経済強国建設の重要な要求」2014年9月、39-41頁。[全訳]

敬愛する金正恩同志の賢明な領導によって朝鮮速度創造で力強く前進している今日、われわれの前には主体の経済管理原理と原則(複数)を変化させた環境と現実的条件に合うように具現した、われわれ式経済管理方法を確立する問題が、どの時よりも切実な問題として出てきている。

敬愛する金正恩同志は、去る5月、歴史的な労作を発表され、現実発展の要求に合うわれわれ式経済管理方法を確立することにおいて把握していくべき綱領的指針を明らかにして下さった。全ての活動家達は、現実発展の要求に合うわれわれ式経済管理方法を確立することが持つ重要性を正しく認識し、敬愛する元帥様が労作で提示された綱領的課業を決死貫徹しなければならない。

われわれ式経済管理方法を確立することは、経済強国建設の重要な要求である。

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しされた。

「社会主義強盛国家建設偉業を成功裏に実現するためには、現実発展の要求に合うわれわれ式経済管理方法を確立しなくてはなりません。」

われわれ式経済管理方法を確立する事業は、本質において偉大な大元帥様が明らかにしてくださった経済管理の原理と方法を今日の現実的条件に合うように具現し、継承発展させる事業である。強盛国家建設が新たな高い段階に入った今日、一日も早く国の経済を強くしようとするならば経済事業に対する指導と管理を決定的に改善しなくてはならない。

われわれ式経済管理方法を確立することは、何よりも社会主義経済発展の合法的要求である。

社会主義経済建設は、条件と環境が絶えず変化発展する現実の中で進められるようになる。したがって、変化する環境と条件に合うように経済管理方法を改善し、完成していったこそ社会主義経済の本質的優越性を高く発揚させ、その発展を力強く終えることができる。このことは、わが国の社会主義経済管理の実践的経験によって確証された。

わが国では、去る時期、生産関係の社会主義的改造が完成された新たな環境と条件に合うように経済管理体系と方法を改善した結果、千里馬大高潮を起こし、歴史的に譲り受けた世紀的な落伍性を振り落とし、祖国の面貌を一新させ、社会主義建設の時期ごとに、段階ごとに発展する現実の要求に合うよう経済に対する指導と管理を深化させ、この地の上に自立で固めた民族経済のしっかりとした土台を用意し、それに基づいて生産と建設を力強く急き立ててきた。類例無き苦しく困難な苦難の行軍、強行軍の時期にも現実的条件に合うよう経済管理を強化することで、全てのものが不足した難しい状況でも生気を失くした工場、企業所（複数）を一つ一つ立て直し、新たな高い科学技術的土台の上に打ち立て、経済強国建設の跳躍台を用意する歴史の奇跡を創造した。

今、われわれの経済建設は、新たな環境と状況で進められている。数十年間もわれわれの重要な経済取引相手となっていた社会主義市場が崩壊して 20 年

が経った。社会主義経済建設が力強く急き立てられるのに従い、経済部門と単位（複数）間の連携がより多様になり、企業体（複数）の責任制と創発性を高めることに対する要求がより高まっており、経済建設で科学技術が果たす役割が前例なく強化されている。

このような実情で変化した環境と条件に合うわれわれ式の経済管理方法を立て、具現してこそ、経済に対する国家の計画的で統一的な指導を強化し、社会主義企業体（複数）の責任制を高め、科学技術と生産、経営活動を密接に結合させ一体化し、国の全般的経済を新たな高い発展段階に引き上げることができる。

われわれ式経済管理方法を確立することは、さらに現時期の経済建設と核武力建設を並進させることに対する党の戦略的路線を貫徹し、富強祖国建設を早めるための切実な要求である。

わが党が提示した並進路線は、強力な自衛的抑制力に依拠し、社会主義経済建設に力を集中することで近い日にわが人民達が世界に羨むものが無い社会主義富貴栄華を享受するようにするための正当な路線であり、米帝をはじめとするあらゆる敵どもの侵略脅威が残っている限り、恒久的に把握していくべき戦略的路線である。わが国の政治思想的威力と軍事的威力が堂々たる高さに上がった今日、党が提示した並進路線を貫徹することにおいて最も重要となる問題は、全ての力量を総集中し、経済強国建設で決定的転換を成し遂げることである。

偉大な大元帥様達が遺産としてお譲りくださったわれわれの社会主義経済は、世界的な経済波動にもびくともしないしっかりした自立的民族経済であり、国防力強化と経済建設に必要な限定的な武装装備（複数）と機械設備（複数）を自らの力と技術で作り出す威力ある経済である。

われわれが既に用意された自立的民族経済の土台の威力を余すことなく発揚させ、経済強国建設を急き立てようとするれば、国防工業発展を確固として進めつつ、ここに他の経済部門（複数）を均衡的に統括させるための経済発展戦略を正しく打ち立て、実現していかなばならず、とりわけ国防工業が先頭で先端科学技術分野を開拓していく機関車の役割を遂行するようにして、知識経済時

代の要求に合うように先端技術産業が国の経済構造で重要な位置を占めるようにしなければならない。このように電力工業、石炭鉱業、金属工業、鉄道運輸をはじめとする基幹工業部門の発展を急ぎ立て、軽工業と農業をはじめとする全般的経済部門の生産を力強く推し進めることが重要な要求として出てきている。

党の新たな並進路線を貫徹することにおいて提起されるこのような諸問題は、今日の造成された環境と条件に合うよう経済に対する国家の統一的指導と戦略的管理を正しく実現しながら、工場、企業所、協同団体（複数）で社会主義企業責任管理体制を正しく実施してこそ円満に解決していくことができる。

われわれ式经济管理方法を確立することは、また米帝とその追従勢力どもの悪辣な反共和国制裁圧殺策動を粉碎し、最終勝利を早めるための切迫した要求である。

今、われわれが強盛して暮らしやすいことを望まない米帝とその追従勢力どもは、わが共和国に対する制裁と孤立圧殺策動を悪辣に敢行してきている。米帝とその追従勢力どもは、最近の数年間だけでも、わが国の平和的衛星発射をめぐって強盗的な国連安全保障理事会「制裁決議」を操作したのみならず、南朝鮮とその周辺の戦略攻撃武器をはじめとする最先端兵器（複数）と膨大な侵略武力を引き入れ、核戦争の導火線に火を点けるための合同軍事演習まで繰り広げておいて、経済建設と人民生活向上のためのわれわれの平和的努力に全面的に挑戦している。わが国が今まで米帝とその追従勢力どもの類例無き悪辣な孤立圧殺策動と経済制裁を断固として粉碎し、強硬には超強硬で堂々と向かいつつ、国と民族の尊厳と利益を固守し、国防建設と経済建設、人民生活に要求される物質文化的手段（複数）をきちんと保障していることは、偉大な大元帥様達と敬愛する金正恩同志の賢明な領導の下に自らの力で暮らしていくことができる、しっかりした経済土台を用意し、それを変化する環境と条件に合うようにわれわれ式で正しく管理してきた結果である。

真にわれわれ式经济管理方法を確立することは、党の戦略的路線を貫徹し、経済問題と人民生活問題を短い期間に解決するための鍵であり、日増しに悪辣になる米帝とその追従勢力どもの反共和国制圧圧殺策動を粉碎し、最終勝利を

早めるための切迫した要求となっている。

偉大な首領様と将軍様が明らかにされた主体の経済管理理論と、変化発展する現実に合うように经济管理方法を改善することに対する偉大な将軍様の遺訓は、今日われわれ式经济管理方法を確立することにおいて根本指針に、出発点になる。われわれは、主体思想の原理と社会主義制度の本性に合うように勤労人民大衆が経済の実際的な主人になり、生産と管理で主人としての責任と役割を果たすようにするわれわれ式经济管理方法を確立しなくてはならない。

われわれ式经济管理方法は、偉大な将軍様が明らかにしてくださった種子を具現した管理体系と方法、言い換えれば社会主義原則に基づいた科学的で実利的な经济管理方法にならなければならない。

社会主義原則を確固として堅持しつつ、生産と管理を客観的経済法則と現代科学技術の要求に合うようにし、最大限の実利を得ることは、われわれ式经济管理方法を確立することにおいて出てくる基本要求である。それほどわれわれ式の经济管理方法は、経済指導と管理で社会主義的所有を擁護固守し、集団主義原則を徹底して具現し、客観的経済法則（複数）に徹底して依拠し、様々な経済的テコ（複数）を正しく利用する科学的で合理的なものであり、科学技術と生産、経営管理を結合し、科学技術の力で経済を発展させていく革新的な方法にならなければならない、経済指導管理と生産活動が有機的に結合され、円滑に順調に成し遂げられるようにしなくてはならない。

われわれ式经济管理方法で重要な内容を成すのは、国の経済全般に対する国家の統一的指導と戦略的管理を正しく実現することである。内閣は、中央集権制原則に従って国の経済全般を統一的に指揮し、重要経済部門と対象（複数）を直接掌握し、戦略的に管理しなくてはならない。さらに内閣責任制、内閣中心制を強化し、全ての経済部門（複数）と全般的経済事業を内閣に集中させ、内閣が主管して対策を立てていくようにすることが重要である。

工場、企業所、協同団体（複数）で社会主義企業責任管理体制を正しく実施しなければならない。企業体（複数）は、国家の統一的な指導下に自らに付与された経営権を行使し、任された国家課題を無条件に遂行しなくてはならず、国家の経済発展戦略に基づいて自らの実情に合う経営戦略、企業戦略を立て、生

産を積極的に増やして企業を拡大発展させなければならない。

経済事業に対する党の領導を保障し、政治事業を確固として先立たせていくことは、われわれ式经济管理方法の重要な内容を成す。

われわれは、党の意図通りにわれわれ式经济管理方法を確立するための事業を党的、国家的事業として掌握し、力強く推進し、正しい方法論をもってうまくやっていくことで经济管理で転換をもたらさなくてはならない。活動家達は、正しい思想観点をもって経済事業で出てくる諸問題を新たな世紀の要求に合うよう献身的に解決していき、先進的な経営管理知識を習得し、指導管理水準を決定的に高めなくてはならない。

全ての活動家達は、党政策に対する確固たる信念を持ち、われわれ式经济管理方法を確立する事業を党の意図に合うよう組織進行していくことで、社会主義経済強国建設を力強く推し進めていかなばならないだろう。

【解題】金正恩政権初期の経済政策についての論文としては、わが国では最も注目されたものである。金正恩の「現実発展の要求に合うわれわれ式经济管理方法を確立しなくてはなりません」という「お言葉」や「企業戦略」への言及に見られるように、北朝鮮が経済発展を目指すために現行の政策にとどまらないことを明示している。今後の北朝鮮の経済政策を占う意味で必須の資料となった。

(5) 「敬愛する金正恩同志の唯一的領導体系を徹底して確立しわが党を永遠に首領の党として強化発展させていこう」2014年第10号、5-7頁。[部分訳]

今日われわれは、敬愛する金正恩同志の領導に従い、主体革命偉業、社会主義強盛国家建設偉業の最終勝利に向って力強く前進している強固な時期に、朝鮮労働党創建69周年を意義深く迎えている。(中略)

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しされた。

「党の唯一的領導体系を徹底して打ち立ててこそわが党を永遠に金日成、金正日同志の党として強化発展させ、首領様と將軍様の思想と業績を忠実に継承し、全社会の金日成・金正日主義化偉業を輝かしく実現できます。」(中略)

党の唯一的領導体系を確立してこそ宗派分子達をはじめとする異色のな全て

の反党的思想潮流を克服し、党の思想意志の統一と団結を成し遂げることが
できる。去る時期、われわれの革命隊伍には異色的な思想要素もあり、党に挑戦
してきた一握りにもならない反党反革命宗派分子達もいた。敬愛する元帥様は、主体革命偉業に対する崇高な使命感と祖国と人民に対する責任感をお持ちになり、現代版宗派徒党に断固たる鉄槌を下され、党と革命隊伍の統一団結を守護され、わが党と革命の命脈をしっかりと守ってくださいました。

今日わが党は、敬愛する金正恩同志の唯一的領導体系を徹底して打ち立てるための闘争の中に、偉大な金日成、金正日同志の党建設の根本原則をしっかりと固守していつている。(中略)

全黨員達と勤労者達は、朝鮮速度創造で敬愛する元帥様を決死擁護するという悲壮な覚悟を持って経済強国建設と人民生活向上のための闘争で年代と年代を超える奇跡を絶えず創造していかなければならない。全ての部門、全ての単位で集团的競争熱風、自力更生の炎を力強く起こし、大高潮戦闘場ごとに大飛躍、大革新が相次いで起きるようにしなくてはならない。人民軍隊の革命的軍人手本、一気に、の攻撃精神を実践闘争に積極的に具現していかなければならない。社会主義建設の全ての戦線で軍民大団結、軍民協同作戦の威力を高く発揮しなくてはならない。

今日朝鮮労働党は、偉大な金日成・金正日主義の旗幟高くわが祖国と人民を百戦百勝の一つの途へと嚮導していつている。

敬愛する金正恩同志の賢明な領導があり、党の偉業に忠実な千万軍民がいるので、われわれの前途にはいつでも勝利と栄光だけがあるだろう。

みなこそって敬愛する金正恩同志の唯一的領導体系を徹底して確立していくことで、わが党を永遠に金日成、金正日同志の党として絶えず輝かしていこう。

【解題】金正恩の叔父・張成沢前国防委員会副委員長は、2013 年末に処刑されたが、それを総括する端的な表現が見られる。『労働新聞』をはじめとする北朝鮮側の公式文献では、処刑前後に張成沢に対する口汚い非難が連日展開されたが、2014 年に入ると一転して名指し批判を避けはじめていた。

- (6) 李赫「米国が追及するサイバー戦争策動の反動性」2014 年第 11 号, 61-63 頁。[部分訳]

今日米国は、空と地、海、宇宙空間でも足りず、人々の目に見えない仮想空間であるサイバー空間まで新たな国家間戦争を引き起こしている。(中略)

問題は、米国の砲声無きサイバー戦争策動が人々の日常生活に密着したインターネット空間で継続されているということである。

今や人々が何ををするのにもコンピューターとインターネットは必須の時代である。したがってインターネットを統制管理すれば、他国を政治、経済、軍事的に統制することができ、支配主義野望を容易く達成できるのだというのが米国の打算である。(中略)

米国のサイバー戦争は、意図的にコンピューター網を攻撃して敵対国の秘密資料を盗み取ったり情報通信網を麻痺させて、ウイルスを流布させ全ての物を瞬間的に破壊してしまう容認できない侵略行為である。(中略)

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しになった。

「帝国主義者どもが人類が達成した最新科学技術の成果を盗用し、反動的思想文化を大々的に流布していることに対処し、インターネット網をわれわれの思想と文化の宣伝の場にするための決定的な対策を立てなくてはなりません。」

米国が追及するサイバー戦争策動の反動性は、何よりもサイバー戦を主権国家に対する干渉と先制攻撃の無制限な侵略手段として考えていることにある。(中略)

サイバー攻撃というもう一つの戦争武器、侵略戦争手段を掌握し、わが国を主たる目標としている米国の狂気が極限に達していることに対処し、国のサイバー国境を徹底して守りサイバー保安を強化することは単純な科学技術戦である以前に社会主義守護戦である。

全ての活動家達と科学者、技術者達は、米国のサイバー戦を徹底して粉碎していくことで、最先端を突破した強力な戦争抑制力をよりしっかりと固めていかなければならないだろう。

【解題】2014 年 12 月 19 日, FBI (米国連邦捜査局) は、映画『ザ・インタビュー

一』を制作したソニー・ピクチャーズエンタテインメントへのサイバー攻撃に対して北朝鮮が直接的に関与したと発表した。本論は、それに先立って北朝鮮側が「サイバー戦争」について論じたものとして注目されるが、自国による攻撃可能性については全く触れられていない。また、国外留学経験のある金正恩がインターネットの重要性を認識していることも分かる¹⁰⁾。

(7) 兎明秀「朝口関係発展の新たな局面を拓いておかれた精力的な対外活動」
2014年第12号、36-38頁。(特集「偉大な金正日同志の逝去3周年に際して」)〔部分訳〕

偉大な金正日同志がわれわれの傍から去られて3年になった。

この日を迎え、われわれ人民の心の中に涙を重ねて濡らすのは、高貴な生涯の最後の日まで超強度外交遠征を断行され、国の対外関係発展の新たな局面を拓いてくださった偉大な金正日同志の絶世の偉人像である。

偉大な金正日同志は、歴史的な根を持った隣接諸国との伝統的な親善協調関係が全ての分野で相互利益に合うように強化発展できる分水嶺を準備され、その土台を確固たるものとする巨大な功績を打ち立てられた。特に、偉大な金正日同志は、ソ連が解体した後、冷戦終息後の変化した国際情勢発展推移と新たな世紀の時代的流れを鋭利に看破されたことに基づき、朝口関係強化発展に特別な意義を付与してこられた。

偉大な領導者金正日同志は、次のように指摘された。

「朝鮮とロシアは、親善協調関係を発展させようという双方の意志が確固たるものであり、それを担保する共同宣言と条約が有り、数十年間互いに緊密に協調した伝統もあり、積極的な行動措置をとるならば二国間の関係は全面的に拡大発展するようになるでしょう。」

偉大な金正日同志は、朝口親善の歴史的根を用意してくださった父なる首領様の不滅の業績を絶えず輝かされるための精力的な対外活動で、朝口関係発展の新たな局面を拓いておかれた絶世の愛国者であられた。

朝口親善関係は、抗日革命戦争の困難な日々に父なる首領様が地球上に初めて生まれた社会主義国家であるソ連を武装で擁護し闘争されたあの時に既に始

源が開かれた長い歴史と伝統を持っている。(中略)

偉大な金正日同志は、米国の一極化策動を粉碎し、全世界の自主化偉業を力強く推し進められた自主外交で朝口関係発展の新たな局面を拓いておかれた政治元老であられる。(中略)

偉大な將軍様が冷徹に進められた対ロシア外交は、ロシア一国に限られた外交であるのみならず、対中、対米、対日外交、言い換えれば新たな世紀の世界戦略均衡を左右する外交だともいえる。(中略)

世界戦略均衡は、常に今日や地球上の平和と安定を保障するカギとなる要因である。冷戦期にはソ米2つの超大国による戦略均衡によって世界大戦が防止されたとすれば、冷戦終結後にはソ連の崩壊でこの戦略均衡が崩壊し「唯一超大国」として振る舞う米国による戦争策動が狂ったように敢行されえた。(中略)

わが党と人民は、偉大な將軍様が成し遂げられた不滅の対外活動業績を代を継いで輝かせ、敬愛する元帥様の領導に従って主体革命偉業と全世界の自主化偉業の終局的勝利のために力強く闘っていくだろう。

【解題】金正恩政権は、その発足時から中国の習近平政権との葛藤が指摘された。2013年12月12日、国家安全保衛部特別軍事裁判は張成沢に対して「国家転覆陰謀行為」容疑により死刑判決を下し、即時執行された。判決文には次のように中国非難と捉えうるくだりがある。「張成沢は、石炭をはじめとする貴重な地下資源をむやみやたらと売りとばさせ、それで腹心達がブローカーどもにだまされて大変な借金を負うはめとなり、本年の5月にはその借金を返すためだと羅先経済貿易地帯の土地を50年期限で外国に売り渡す売国行為もためらわなかった。」そのような中で本論は、中国に代わりロシアに接近しようとした形跡がうかがわれるものである。

- (8) 崔泰福「金日成・金正日主義で先軍革命偉業を勝利へと嚮導される傑出した思想理論家」2015年第1号、13-15頁。[部分訳]

今日、われわれの革命は新たな高い段階に入った。

敬愛する金正恩同志が全社会の金日成・金正日主義化をわが党の最高綱領と

して宣布され、金日成・金正日主義の旗幟の下に革命と建設を賢明に領導されることでわれわれの革命実践では大きな転変が起こっている。

偉大な大元帥様達の念願である社会主義強盛国家建設で大飛躍が起きており、金日成民族、金正日朝鮮の面貌が人知れず新しくなっている巨大な転変が成し遂げられている。

敬愛する金正恩同志が提示された戦闘的スローガン「全党と全社会を金日成・金正日主義化しよう!」、これがわれわれの先軍革命の総的な闘争目標であり、われわれの軍隊と人民の永遠の座右の銘である。

われわれは、世紀と年代を受け継いできた金日成・金正日主義の旗幟を変わることなく高く掲げ、敬愛する金正恩同志の領導に従い主体革命偉業、先軍革命偉業を最後まで完成していくだろう。

敬愛する金正恩同志は、次のようにお話しになった。

「今日、わが党と革命は、金日成・金正日主義を永遠の指導思想として確固として掌握していくことを要求しています。」

偉大な政治家には偉大な政治綱領がある。

民族の大国葬後、世界社会界の耳目は先軍朝鮮に集中していた。朝鮮の政治方向がいかに定められ敬愛する金正恩同志の政治が果たしていかなるものなのかについて世界が注視したその時、まさに全党と全社会を金日成・金正日主義化しようというスローガンが提示された。

全社会の金日成・金正日主義化は、偉大な首領様と將軍様の革命思想である金日成・金正日主義を唯一の指導的指針としてわれわれの革命を前進させ、金日成・金正日主義に基づいて主体革命偉業、先軍革命偉業を完成していく聖なる偉業である。

金日成・金正日主義は、偉大な主体思想、先軍思想を真髄としてそれによって明らかにされた革命と建設に関する理論と方法の全一的な体系である。この革命思想には、われわれの革命の最終目標とその実現のための根本方途が具体的に、全面的に明らかにされている。(中略)

敬愛する金正恩同志は、偉大な大元帥様達の革命思想を金日成・金正日主義として定式化され、全党と全社会の金日成・金正日主義化スローガンを提示す

ることで首領永生偉業実現の崇高な衷情の叙事詩を繰り広げてくださった。
(中略)

党は先軍革命の嚮導的力量であり、強盛国家建設はわが軍隊と人民の前に出ている当面の闘争目標である。党を強化し、強盛国家建設を力強く打ち立てることは、先軍革命の勝利のための先決条件、基本の鍵であると言える。(中略)

主体革命偉業は先軍で開拓され、先軍の威力で百戦百勝を轟かせてきた栄えある革命偉業である。思想と信念が透徹し無敵必勝の宝剑を握んだ革命武力を磨いては先軍革命偉業の終局的勝利について考えることができない。

われわれの革命で思想的に一色化と先軍は乖離して考えられない。われわれの軍隊は、革命の開拓期から首領の革命思想を擁護し貫徹することにおいて誰よりも真摯且つ献身的であった。(中略)

今、自然と社会を偉大な金日成・金正日主義の要求通りに改造していくことにおいてわれわれの革命武力が果たす変革的役割は非常に大きい。われわれの軍隊は、経済建設の最も重要な戦線ごとに、人民のための大記念碑的創造物を打ち立てる建設場ごとに驚くべき英雄的偉勲を轟かせている。(中略)

領導者の権威は、自らの政治理念と綱領を具現する荘厳な実践闘争の中で高まるようになる。敬愛する金正恩同志は、偉大な金日成・金正日主義を定式化され、全党と全社会の金日成・金正日主義化スローガンを提示された巨大な思想理論的業績でもって、その実現のための卓越した政治実力と領導芸術で今、全党と全人民の絶対的な支持と欽慕を受けていらっしゃる。

敬愛する金正恩同志の領導的権威は、何をもっても崩すことのできない最高峰の権威である。それは、先軍朝鮮の尊厳を世界の八方に轟かせ、聖なる金日成・金正日主義の旗幟高く主体革命偉業、先軍革命偉業の燦然たる未来を担保する百戦百勝の旗幟になっている。

全黨員達と人民軍将兵達、人民達は、偉大な金日成・金正日主義の正当性と不敗性に対する確固たる信念を大切にし、敬愛する金正恩同志の領導に従い、主体革命偉業、先軍革命偉業の終局的勝利のために力強く闘っていかなければならないだろう。

【解題】著者の崔泰福は、金正日体制が正式出帆した 1998 年 9 月以降最高人民

会議議長を務め、金正日の国葬で靈柩車を囲んだ（金正恩を除く）幹部7名のうち失脚説が出ていない唯一の人物となった。本論文は、2015年の「新年の辞」とともに掲載された「敬愛する金正恩元帥様に最大の栄光を捧げます」特集で、記名のものとしてはトップを飾った。（なお、2012年は金永南・最高人民会議常任委員長、2013年は車容明・金日成高級党学校校長、2014年は朱榮植・党中央委員（前慈江道党委責任書記）がトップバッターであった。）なお同特集には、2014年と異なり外交に関する論考が掲載されていない。

(9) 李洙堉「偉大な金正日同志の不滅の対外活動業績は千秋万代に長く輝くであろう」2015年第2号、26-29頁。[部分訳]

意義深い光明星節を迎え、世界の数多くの国の人民達の中では朝鮮革命と世界革命の前に永久不滅の業績を遺された偉大な金正日同志に対する尽きない称賛の熱気が高まっている。

地球上に対外活動という言葉が生まれてから数多くの逸話も生まれ、私こそという政治家達も多かったが、偉大な金正日同志のように政治、経済、軍事、外交、文化の全ての面で最も輝かしい革命業績を遺され、世界外交史に永遠に消すことのできない軌跡を遺された傑出した領導者はいない。金日成民族の地位と尊厳を最上の境地に高めてくださり、世界自主化偉業実現に巨大な歴史的貢献をされた偉大な金正日同志の不滅の対外活動業績は、代を継いで永遠に伝えられる金日成朝鮮の国宝であり、人類共同の最も偉大で高貴な財産であり、人類史とともに千秋万代に長く輝くであろう。

敬愛する金正恩同志は次のようにお話しになった。

「金正日同志が半世紀を超える長久な期間、不滅不朽の先軍領導で祖国と革命、時代と歴史の前に遺された偉大な業績は、われわれの革命偉業の勝利的前進とともに千秋万代に長く輝くでしょう。」

偉大な金正日同志の不滅の対外活動業績は、父なる首領様の絶対的な権威と業績を擁護し輝かせる事業で一貫した聖なる革命業績である。

首領の高い対外的権威と革命業績を絶えず輝かせることは、首領の尊名で偉大な強国の尊厳と栄誉を八方に轟かせ、首領が開拓した革命偉業に対する国際

の支持と連帯性を強化するための重要な担保となる。(中略)

偉大な將軍様は、われわれの首領様が爆風のような歓迎を受けられて進められた外国訪問の道をそのまま受け継がれ、親善的な国々との友好関係を新たな高い段階に上げられ、過日首領様と縁故関係があった人士達にも温かく会ってくださり、世界自主化偉業の実現のために不滅の貢献をされた。新たな世紀に入って偉大な將軍様が進められた中国東北地域とロシア連邦の極東地域に対する歴史的な訪問にも、父なる首領様の高貴な足跡が刻まれている地域をご覧になりながら首領様の不滅の対外活動業績を子孫万代に長く伝えようとされる將軍様の崇高な意志がこもっている。(中略)

偉大な將軍様の対外活動は、われわれ人民の生命であり生活である祖国と社会主義を守護するための最も愛国的な活動として一貫されていた。

人民の大きな矜持と栄誉は祖国の権威にあり、祖国の権威は自主にあると言える。自主的立場が確固であればあるほど対外関係で完全な自主権と平等権を行使し、国の権威が高くなるのである。

今日、われわれの祖国は、偉大な將軍様の精力的な対外活動によって5000年の民族史で初めて見る高い対外的権威を有している。

米国がわが共和国を孤立圧殺しようと執拗に策動しているが、わが共和国は堂々たる核保有国、人工地球衛星製作及び発射国の地位を占め、対外活動を日増しに拡大していつている。

偉大な將軍様が持たれた高い国家的権威と威信により、わが共和国は国際舞台で自らの政治的影響力を余すことなく誇示している。

過去、列強どもに物乞いし、大国に任せて弱小国として冷遇された辛い歴史は、永遠に過去のものとなった。われわれを重視しわれわれの立場を尊重しなくては、朝鮮半島はもちろんのこと北東アジアと世界の平和と安全に関連するいかなる問題も解決していけないことが今日の厳然たる現実である。世界を見渡しても国際舞台でこのように他国との関係でも言うべきことを全て口にする国はわれわれしかない。(中略)

それぞれの国が数多くの国々と肩を並べて生きている。人が社会との不断の交流の中でのみ生きていけるように、それぞれの国も世界の中で暮らすべく他

の国々と絶えず交流しなくてはならず、その交流の担当者は他ならぬ人間である。このような意味で、対外活動は他国の人々で行う事業であると言える。
(中略)

偉大な將軍様は、会われる人々と情を深くされ、彼らを通じて該当国の政治、経済、文化、軍事、自然地理と風俗に至るまで深い理解を持たれ、彼らの念願が何であるかということも了解され、それに基づいた親善関係発展に特別な関心を寄せられた。

偉大な將軍様がロシア連邦を訪問された際にレーニン廟を訪問されたニュースは、將軍様の革命的義理と高邁な徳性を世界の前にしっかりと示した歴史的契機となった。

偉大な將軍様は、会われる人々と気兼ねなく会話を交わされ、機知にとんだ該博とユーモアで人々の緊張した心を解いてくださり、彼ら皆が人類の自主偉業に対する固い確信と勇気を持つよう力を下さり信心を下さった。(中略)

偉大な金正日同志の不滅の対外活動業績は、敬愛する金正恩同志によってさらに燦然とした光を放っている。

敬愛する金正恩同志は、領導実力も主体思想、先軍思想に基づいたわれわれ式の独創的な先軍政治を打ち出され、しっかりと実践してこられた偉大な大元帥様達そのままであられ、領導風貌も特出した偉人像として万民の心を捉まえられた大元帥様そのままであられる。偉大な主体思想、先軍政治は、わが党の対外政策の永遠の礎石であり、自主と正義を守護し世界自主化偉業を力強く推し進める百戦百勝の旗幟である。

わが党と人民は、稀世の外交巨匠であられる敬愛する金正恩同志の領導に従い、偉大な大元帥様達の不灭の業績と栄光燦爛たる革命領導史を千世万世長く輝かせていくであろう。

【解題】2月刊行号は、慣例として金正日の誕生日「光明星節」(2月16日)に際する特集が組まれる。各論文では政治、思想、軍事、経済、文化など多様な分野に亘って金正日の業績が称えられるが、2015年は李洙暻外相による論文が特集の末尾に掲載された。2014年1月刊行号に見られた姜錫柱に準ずる扱いである。内容は他の論文と同様に、金正日を称えながらもその業績を金正恩

が継いでいることを強調するものとなっているが、具体的なエピソードに乏しい。具体的な国名としては、米国に 1 回、中国に 1 回、そしてロシアには 2 回触れられている。

4. 「常識」

(1) 「常識—党思想活動家大会に関連する資料」2014 年第 6 号, 64 頁。[全訳]
—朝鮮労働党第 1 回思想活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 44 年 (1955) 年 12 月 28 日不朽の古典的労作「思想事業で教条主義を退治し、主体を確立することについて」を発表された党宣伝扇動活動家会議

—朝鮮労働党第 2 回思想活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 62 (1973) 年 6 月 13 日不朽の古典的労作「現時期党思想事業を改善強化するためのいくつかの課業」を発表された党思想事業部門活動家会議

—朝鮮労働党第 3 回思想活動家大会

偉大な領導者金正日同志が主体 63 (1974) 年 2 月 19 日不朽の古典的労作「全社会を金日成主義化するための党思想事業の当面のいくつかの課業について」を発表された全国党宣伝活動家講習会

—朝鮮労働党第 4 回思想活動家大会

偉大な領導者金正日同志が主体 70 (1981) 年 3 月 8 日不朽の古典的労作「党思想事業をさらに改善強化することについて」を発表された全国党宣伝活動家会議

—朝鮮労働党第 5 回思想活動家大会

主体 73 (1984) 年 3 月に開催された全国党宣伝活動家会議

—朝鮮労働党第 6 回思想活動家大会

主体 83 (1994) 年 3 月に開催された全国党思想部門活動家会議

—朝鮮労働党第 7 回思想活動家大会

主体 93 (2004) 年 2 月に開催された全党思想活動家大会

—朝鮮労働党代 8 回思想活動家大会

敬愛する金正恩同志が主体 103 (2014) 年 2 月 25 日不朽の古典的労作「革命的な思想攻勢で最終勝利を早めていこう」を発表された朝鮮労働党第 8 回思想活動家大会

(2) 「常識—全国芸術人大会に関連する資料」2015 年第 8 号, 21 頁。[全訳]

—第 1 回全国芸術人大会

偉大な首領金日成同志が主体 35 (1946) 年 5 月 24 日古典的労作「文化人達は文化戦線の闘士にならなければならない」を発表された北朝鮮各道人民委員会政党, 社会団体, 宣伝員, 文化人, 芸術人大会

—第 2 回全国芸術人大会

偉大な首領金日成同志が主体 35 (1946) 年 9 月 28 日古典的労作「民主建設の現段階と文化人の任務」を発表された第 2 回北朝鮮各道人民委員会, 政党, 社会団体宣伝員, 文化人, 芸術人大会

—第 3 回全国芸術人大会

主体 37 (1948) 年 11 月に開催された全国文化芸術人大会

—第 4 回全国芸術人大会

主体 38 (1949) 年 12 月に開催された全国文化芸術人熱誠者大会

—第 5 回全国芸術人大会

主体 42 (1953) 年 9 月に開催された全国作家芸術人大会

—第 6 回全国芸術人大会

主体 46 (1957) 年 12 月に開催された全国作家芸術人大会

—第 7 回全国芸術人大会

主体 47 (1958) 年 12 月に開催された全国作家芸術人大会

—第 8 回全国芸術人大会

偉大な領導者金正日同志が主体 70 (1981) 年 3 月 31 日歴史的な書簡「主体的文学芸術をさらに発展させることについて」を送ってくださった全国文化芸術人熱誠者大会

—第 9 回全国芸術人大会

敬愛する金正恩同志が主体 103 (2014) 年 5 月 16 日歴史的な書簡「時代と革命発展の要求に合うよう主体的文学芸術の新たな全盛期を開いていこう」を送ってくださった全国芸術人大会

(3) 「全国教育活動家大会に関連する資料」2014 年第 12 号, 58 頁。[全訳]
(「常識」の見出し無)

—第 1 回全国教育活動家大会

主体 35 (1946) 年 8 月 28 日に開催された第 1 回北朝鮮教育関係者大会

—第 2 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志の発起によって主体 36 (1947) 年 3 月 21 日に開催された全国教育関係者会議

—第 3 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 42 (1953) 年 8 月 21 日自ら大会に参加され指導してくださった全国教育者大会

—第 4 回全国教育活動家大会

主体 44 (1955) 年 7 月に開催された全国教育者大会

—第 5 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 50 (1961) 年 4 月 25 日「青少年教養における教育活動家達の任務について」という綱領的な演説をされた全国教育活動家熱誠者大会

—第 6 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 56 (1967) 年 4 月 20 日「学生達の中で社会主義的愛国主義教養を強化することについて」という綱領的な演説をされた全国教員大会

—第 7 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 60 (1971) 年 12 月 27 日「教育事業で社会主義教育学の原理を徹底して具現することについて」という綱領的な演説をされた全国教員大会

—第 8 回全国教育活動家大会

偉大な首領金日成同志が主体 67 (1978) 年 10 月 1 日「社会主義教育テーゼを徹底して貫徹し教育事業で新たな転換を起こそう」という綱領的な演説をされた全国教育活動家大会

—第 9 回全国教育活動家大会

偉大な領導者金正日同志が主体 73 (1984) 年 7 月 22 日歴史的な書簡「教育事業をさらに発展させることについて」を送ってくださった全国教育活動家熱誠者会議

—第 10 回全国教育活動家大会

主体 81 (1992) 年 9 月に開催された全国教育活動家大会

—第 11 回全国教育活動家大会

主体 86 (1997) 年 10 月に開催された全国教育活動家熱誠者会議

—第 12 回全国教育活動家大会

主体 93 (2004) 年 10 月に開催された全国教育活動家大会

—第 13 回全国教育活動家大会

敬愛する金正恩同志が主体 103 (2014) 年 8 月 30 日朝鮮労働党中央委員会責任活動家達にされた談話「新たな世紀教育革命を起こしわが国を教育の国、人材強国として輝かせよう」が伝達された主体 103 (2014) 年 9 月 5 日に開催された全国教育活動家大会

(4) 「常識—朝鮮労働党細胞秘書大会に関連する資料」2015 年第 1 号, 64 頁。[全訳]

—朝鮮労働党第 1 回細胞秘書大会

偉大な領導者金正日同志が主体 80 (1991) 年 5 月 10 日不朽の古典的労作「党細胞を強化しよう」を発表された全国党細胞秘書講習会

—朝鮮労働党第 2 回細胞秘書大会

偉大な首領金日成同志が主体 83 (1994) 年 3 月 31 日不朽の古典的労作「党細胞の 5 大課業」を発表された全党党細胞秘書大会

—朝鮮労働党第 3 回細胞秘書大会

主体 96 (2007) 年 10 月に開催された全国党細胞秘書大会

—朝鮮労働党第4回細胞秘書大会

敬愛する金正恩同志が主体 102 (2013) 年 1 月 29 日不朽の古典的労作「党細胞事業を改善強化し党の戦闘的威力を百方に高めて強盛国家建設を力強く急ぎ立てよう」を発表された朝鮮労働党第4回細胞秘書大会

【解題】(1)から(4)は、金正恩が好んで開催している各種「大会」の概要が時系列に列挙されたものである。過去に異なる名称で開催された会議が一連のものとして再整理されたことが分かる。ここでは、2015 年第 2 号までに公開されたものを翻訳した。「常識」欄は、「資料」欄と同様に、北朝鮮で「常識」とされる内容を整理した短い記事を掲載したコーナーである。2011 年には見られなかったが、2012 年第 2 号の「常識—敬愛する将軍様にわれわれ人民が差し上げた称号と勲章」で復活した。

5. おわりに

金正恩政権期に公刊された朝鮮労働党中央委員会機関誌を扱った論考は、本稿が初となろう。使用可能な資料が限定的な北朝鮮政治外交研究において、新資料の渉猟と検証は一定程度の意味があるものといえる。但し、本稿で扱った『勤労者』の網羅的、通時的分析には相応の時間を要する。

※本稿の一部は、JSPS 科学研究費（課題番号 15K03284, 15H03326）の助成を受けた。

注

- 1) 『光明百科事典』第7巻、平壤：百科事典出版社、2011 年、748 頁。
- 2) 1991 年までの『勤労者』の全体像については、李教恵『北韓主要基礎文献解題集(Ⅲ)—「勤労者」解題』ソウル：統一研究院、1995 年が参考になる。近年における『勤労者』を用いた研究として、金榕炫「『勤労者』分析を通じた北韓の軍事化談論変化研究—1946-2006」(韓国)『統一問題研究』2009 年上半期(通巻第 51)号、269-301 頁。金は、「実際に入手可能な 1991 年までの『勤労者』を分析対象とした。中国、日本等の研究機関を訪問、資料収集をしたが、1991 年以降の『勤労者』は入手できなかった」とする(271 頁)。

- 3) 拙稿「第3回朝鮮労働党代表者会における金正恩公式化と『先軍』の継続意思」小此木政夫ほか編『朝鮮半島の秩序再編』慶應義塾大学出版会、2013年、59-88頁。
- 4) 拙稿「金正恩体制の構築過程—2008年～2012年」今村弘子編『東アジア分断国家—中台・南北朝鮮の共生は可能か』原書房、2013年、131-178頁。
- 5) 金正日の後継者問題については、拙稿「公式化以前の金正恩—金正日総書記の後継者だと確実視された背景」『法学研究』83巻12号、2010年、317-349頁。
- 6) 拙稿「金正日とイデオロギー—北朝鮮『先軍思想』への道」『慶應の教養学』慶應義塾大学法学部、2009年、59-92頁。
- 7) 「リビアの事態がもたらす教訓」『労働新聞』2013年4月18日付。
- 8) 例えば、韓忠赫・李建「政論—青年強国の力世界に轟かせよ」『労働新聞』2015年9月7日付。
- 9) 金正恩の「新年の辞」については、拙稿「2012年の金正恩『労作』」『紀要国際情勢』83号、2013年、11-23号、拙稿「2013年の金正恩『労作』」『紀要国際情勢』84号、2014年、13-31頁、拙稿「金正恩第1書記の2014『新年の辞』」『外交』23号、2014年、164-167頁、拙稿「金正恩2015年『新年の辞』を読む」『公研』（公益産業研究調査会）617号、2015年、56-59頁、拙稿「金正恩『新年の辞』を読み解く」『公研』629号、2016年、84-87頁。
- 10) 北朝鮮の情報統制については、拙稿「統制社会の北朝鮮—監視と動員」小此木政夫・磯崎敦仁編『北朝鮮と人間の安全保障』慶應義塾大学出版会、2009年、25-47頁、拙稿「北朝鮮の『多元主義』—弛緩と抑制」『東亜』476号、2007年、24-34頁、拙稿「北朝鮮住民の意識動態—忠誠心の行方」小此木政夫編『韓国における市民意識の動態』慶應義塾大学出版会、2005年、149-175頁。